

令和4年度(第21回)北海道支部総会議案

1-1) 2021年度 事業報告

一昨年から続いている新型コロナウイルス流行が終息することなく、年末には変異種のオミクロン株が全国的に蔓延し、今年の1月には北海道でも「まん延防止等重点措置」が発令されました。

昨年の「緊急事態宣言」が発令されたときは外出が制限されたり、北海道所轄の施設に利用制限がかかったりして通常の活動が出来ない状況が続きました。その中で北海道支部規約第4条に掲げる次の事業を実施しました。

(1) ALSに関する正しい知識の普及と啓発事業

- ・6月6日 第20回定期総会は、新型コロナウイルス感染予防により令和2年に続いて書面開催となりましたが、講演会・歌の翼隊による音楽会および交流会を初めてZOOMを利用してオンライン形式で開催し、遠く山梨県支部初め約40名の方々にご参加いただきました。
- ・機関誌「絆」の発行 第101号から第104号 年4回
特に第102号では北海道支部設立20周年を迎えましたので「北海道支部20年の歩み」を特集し発行しました。
- ・喀痰吸引等第三号研修の実施(帯広) 4月16日、17日
残念ながら札幌地区では研修会場を新型コロナウイルスの影響で確保出来ず2021年度は第三号研修を実施出来ませんでした。

(2) 患者・家族及び遺族相互の経験交流と医療福祉に関する相談事業

- ・絆サロン(相談会)の開催
4月から12月まで開催(6月～9月は中止)
5回の実施で延84名の参加がありました。(前年度65名)
- ・千歳支会 開催
- ・帯広支会 開催
- ・「歌の翼隊」の派遣
- ・患者・家族のオンライン交流会の開催 8月22日(日)

(3) 医療・福祉行政への療養環境改善に対する働きかけ

- ・今年度は特に記述する事項はございません。

(4) その他北海道難病連事業への参加・協力等目的達成のために必要な事業

- ・講演会への講師派遣（ヘルパー養成研修会）
2月19日オンラインで開催となりました。
- ・次の関連事業は新型コロナウイルス感染予防のため、全て中止となりました。
- ・難病患者・身障者と家族のための全道集会・分科会 札幌大会
- ・チャリティバザー
- ・チャリティクリスマスパーティ

第127回運営委員会 北海道難病センターにて(令和4年4月17日)



ハイブリッド方式